

名古屋に初の路面店

中部フーズ「デリカキッチン」

総菜専門
あす開店



バローホールディングス（HD）の総菜製造子会社の中部分ーズ（多治見市高根町、安田勝彦社長）は9

月1日、名古屋市中東区名東本町に総菜専門店「デリカキッチン星ヶ丘店」をオープンする。デリカキッチンは3店舗目で、初の路面店。その場で商品を食べられる「イートインスペース」を設けるなど新たな工夫を盛り込んだ。投資額は非公表。女性や一人暮らしの高齢者をターゲットに名古屋市内で出店を加速させ、今

後は3年以内に50店舗まで増やす。星ヶ丘店は、マンションが建ち並ぶ住宅街の一角で、住宅マンション1階のコンビニ跡地を改装した。売り場面積は91・8平方

米。イートインスペースを

16席設けたほか、店内で焼き上げるパンの売り場を初めて設けた。

総菜の大半は、製造工場の下処理した食材を店内で調理、加工して提供。味や栄養バランスにこだわった弁当や総菜、焼きたてパンなど約240種の商品を販売する。「三元豚のやわらかロースかつ重」など他店舗の人気商品のほか、「黄金だしのだし巻玉子」や「米茄子の肉みそチーズ

田楽」など新商品もそろえる。

同社は2017年、名古屋駅近くにデリカキッチンのKITE名古屋店、近鉄パッセ店を相次いで出店。デパ地下とスーパーやコンビニの中間の価格帯を狙い、女性客をターゲットに見た目や味にこだわった総菜を提供している。

営業時間は午前10時から午後8時30分まで。30日開いた内覧会で、安田社長は「新しい客層を取り込むため、地域に合わせた店づくりに力を入れたい」と話している。

約240種の豊富な総菜や弁当が並ぶ店内。名古屋市中東区名東本町、デリカキッチン星ヶ丘店